

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 社会福祉法人睦月会 児童発達支援事業みらい

公表日 2025年 3月 26 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・移動式のカーテンを使用する事で、部屋を二分割でき、必要に応じて適切なスペースを保つことができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員配置基準を満たしており、利用児の在席が多い曜日には非常勤職員を1名雇用している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・パーテーション等、床のマークで活動空間を区切り視覚化している。	・トイレが古く、トイレを進める上でもう少し環境を整えることが必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、床のモップかけ等活動室や施設内の清掃を行っている。共有で使用のおもちゃは消毒液に着けた雑巾で拭いている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・活動の振り返りを中心に業務内容について頻繁に話す機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に1回行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価の実施はしていない為、業務改善につなげっていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・東京都からの研修や法人内で定期的に支援について研修する機会がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・半年に1度の保護者との面談やケース検討会を開いて計画の方向性をチームで話し合っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援計画を作成する前には、チームで日頃の様子について話し、次の目標をどのレベルまでにするのかを話し合っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・利用児それぞれの支援計画を一覧にして、職員全体で意識ができるように配布している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・計画や状態像に沿って、活動案をチームで話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節の創作やルール遊びを取り入れたり工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団療育を中心に行いながら、子ども達のそれぞれの課題に応じて個別課題の提供を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援後の振り返りの後、翌日の活動内容の打ち合わせを行い、準備や役割分担をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・全体で1日の活動の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・担当職員が利用児の計画に沿った記録を毎日取っている。様子だけでなく、睡眠時間や食事量といった項目もあるため、必要に応じて項目を増やし記録を取り、支援の改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・6ヶ月に1度モニタリングをと保護者面談を行い、計画の見直しと作成を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当職員と、児童発達管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保育園、幼稚園を併用している利用児は必要に応じて園への訪問を行っている。クラスの先生と情報を共有しどの場所でも足並みを揃えた支援ができるようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・園への訪問を行うことで、利用児の状態を把握し支援を必要とする部分を確認しみらいでの取り組みを共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・支援シートや引継ぎ連絡等で情報共有をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・今年度は取り組んでいない。利用児のニーズを把握した上で今後検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年に数回のイベントを通して、保護者が交流できる機会を作っている。	・勉強会での経験を活かし、今後は家族支援にも力を入れていけるように、職員間で知識を高めていく。またどのように支援を行っていくのかも具体的に決めていく必要がある。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約面談時に書面と口頭で説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・6ヶ月に1度、モニタリングと保護者との面談を行い、保護者や子ども達のニーズを把握し計画に反映している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・6ヶ月に1度、モニタリングと保護者との面談を行い、面談の中では担当職員が支援内容に沿った説明を書面と口頭で説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・帰りの引継ぎや連絡帳にて、みらいでの様子だけでなく、ご家庭の様子を把握し、支援の助言や相談に乗っている。必要に応じて、相談支援事業所に繋げている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・1年に4回ほど、イベントを開催し、保護者に参加していただいている。イベントのプログラムや昼食場面で、保護者同士の交流が図れるように意識している。	・保護者会の開催は今年度行っていない。開催時期や方法を今後検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からの相談や申し入れがあった場合には、体制を調整に迅速に対応にあたっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・月に1回広報を配布し、写真を交えて発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・今年度は行っていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・曜日を交えて年数回避難訓練をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・調査票を年1回記入してもらい、把握している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーがある子については、保護者に対抗を確認している。また、ご家庭からお弁当を持参している事や調理活動の時には事前に使う食材をご家庭に知らせアレルギーの有無を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・日々の振り返りで情報の共有をしている。必要に応じて、書面にて記入し状況の整理と改善策について考え、実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年に1回、法人内で研修を行っている。研修で出た意見を職員同士で共有している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人睦月会 児童発達支援事業みらい

公表日 2025年 3月 26日

利用児童数 2025年 2月 28日

回収数 15名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				・数か所部屋があり、1つ1つ広い。	・子どもの人数によっては、クラスを2つに分けることでスペースの確保に努めております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1	・日々不足と感じないが、以前より職員の人数が減ってしまい職員の業務の負担が心配である。	・職員の配置につきましては、基準を満たしておりますが、業務内容についても現在見直し負担がないように努めております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1			・次に何をやるのか分かりやすいイラストが提示されている。	・視覚的にも分かりやすいように、スケジュールや運動プログラムはイラストを使って説明をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・清潔感があり、広い部屋が数か所あり活動がしやすい。	・適宜館内清掃が入りますが、日々の清掃やおもちゃの消毒など子ども達が安心して過ごせるように努めています。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・入所前の面談にて子どもの様子や、家族の困りごとを相談し、その内容に沿って支援計画が立てられており、丁寧に説明をしてくれている。 ・子どもの成長に寄り添ってもらい、とてもありがたい。	・法人内での研修や都が行う研修に参加し、専門性の高い療育を目指しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				・合っていると感じる。	・今後も子ども達のニーズに合わせた活動ができるようプログラムの内容は検討させていただきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・利用開始前は心配事もあったが、支援の計画が親も今1番してあげたい内容である。	・保護者とのモニタリングの面談や日々の子ども達の活動の様子からニーズを把握して、発達段階に沿った支援計画が作成できるよう努めていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15				・それぞれ適切であり、日々の迎え時の引継ぎやノートにて掲げられた支援がなされている。子どもが少しずつ成長していると感じる。	・他機関を利用するご家庭が増えている為、園見学や情報の共有等今後も積極的に行っていこうと思います。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				・実際の支援内容を家庭でも取り組むと少しずつ着席をすることやタッチなどでコミュニケーションが取れるようになってきている。	・子ども達それぞれの個別支援計画を職員が把握し、活動では計画を意識した内容を取り入れております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			3	・遠足やクリスマス会等の行事があったり、日々の活動の内容も様々である。毎日色々経験をして興味の幅が広がってきている。 ・通所を始めて間もない為まだよく分かっていない。	・今年度は特に、保護者参加のイベントに加えて、調理、外出、買い物体験など色々な経験ができるように活動の工夫を行いました。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5	2	3	5	・子どもが幼稚園を利用する際に、引継ぎの為に支援内容や様子を記入した資料の提供をもらえた。 ・子どもの交流ではないが、先生が幼稚園と連携してとても協力的でありがたい。 ・通所を始めて間もない為、まだ良く分かっていない。	・地域の保育園や幼稚園との交流の機会は今年度設けられませんでした。ニーズがあれば実施も検討していきます。また、他機関との併用利用のご家庭が増え、みらいでの取り組みや様子については園の先生と直接お話しをしたり、資料を作成するなど情報共有を図っております。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・丁寧に説明があり、分からないことがあればその時や後日聞くことができる優しい雰囲気がある。	・利用契約の際にご説明をさせていただいております。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・丁寧に説明があり、支援計画の内容について確認をしっかりと聞いてくれた。	・支援計画の作成後は、面談を通して保護者へ説明し内容についての変更や質問がないかを毎回確認しております。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		1	1			
15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15					・送迎時に日々の成長の様子や体調面、食欲等、細やかに教えてくれた。 ・支援後の引継ぎでは、1日の様子について保護者の方に直接お伝えしており、「○○が出来ようになった」だけではなく、どのように取り組むと子ども達が自分の力でできたのかという具体的な取り組みも同時にお伝えできるよう工夫しております。またみらいでの様子だけでなく、ご家庭での様子や困りごとについても伺っております。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					・入所前や日々の送迎等、また面談の実施で支援に関して話す場が設けられた。 ・必要に応じて面談をしてくれた。 ・悩んでいる時に、すぐに話を聞いてもらいとても心強かった。	・半年に1回のモニタリング面談と併せて、子ども達の日頃の様子やご家庭での様子について必要に応じて面談の機会を設けております。些細な事でも、いつでもご相談いただければと思います。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				・とても共感的で、保護者も話しやすい。	・みらいでできた事、成長している部分を保護者に伝えていくと同時にご家庭での様子についても大変さや楽しさという部分についても一緒に共感し合いながら今後子ども達の成長を見守れる施設でありたいと思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	1	5	・クリスマス会で他の保護者の方とレクリエーションを通じて話しやすくなり、兄弟も参加でき、楽しめた。 ・行事等で保護者同士の交流はできていると思う。 ・通所を始めて間もない為、まだよく分かっていない。	・保護者会の実施は今年度は行っておりませんが、年に3回の保護者参加のイベントを通して保護者同士の交流の場を作りました。特にイベントでのレクリエーションを通して、年代の近い保護者や利用曜日が違う保護者同士の交流も見られました。来年度も保護者への支援という視点でもサポートを続けていきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				1	・いつでも相談しやすいよう、声掛けや雰囲気の良い。 ・通所を始めてまだ間もない為、まだよく分かっていない。	・ご家庭のニーズに合わせた場の情報提供を適宜行っております。また、西東京市内の利用施設を一覧にすることで、保護者の方にも分かりやすく伝える工夫をしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					・入所した後、食事の様子を教えてくださいたりアドバイスをもらったことで、子どもが家でもよく食べ機嫌よく過ごせたり、幼稚園入所にあたり細やかな書類があり配慮があると感じる。	・日々の支援の様子については、連絡ノートを活用し保護者と直接引継ぎで情報の伝達を行っております。また、必要に応じては面談をする機会を設けております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13				2	・月毎にお便りがあり、日々の活動やお知らせが定期的にある。写真付きで毎月楽しみにしている。 ・通所を始めてまだ間もない為、まだ良く分かっていない。	・月に1度広報の発行をしております。子ども達の活動の様子を写真付きで載せると同時に施設からのお知らせをしております。今後はSNSにも力を入れ地域の方にみらいを知っていただけるような取り組みもしていきたいと思っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					・入所前に説明があり、書類ももらっている。	・利用契約の際に、個人情報の同意書を説明し記入していただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		2	・入所前に書類をもらい説明があった。 ・訓練を実施しているかわからない。 ・きちんと文書と口頭で説明があった。	・利用契約の際に、説明をさせていただいておりますが十分に周知ができていないマニュアルもあるかと思っておりますので、今後の課題とさせていただきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		4	・行われていると思う。 ・きちんと文書と口頭で説明があった。	・年2回の避難訓練の実施をしております。保護者の方にも広報等で事前にお伝えしております。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					・入所前に説明があった。	・利用契約の際に説明をさせていただいております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				2	・入所前に説明があった。 ・実際にけががあった時、すぐに連絡をくれて安心できた。	・体調不良や活動中の怪けについては、保護者の方へ直接又はお電話にて状況の報告をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					・登園時には玄関先で先生の顔を見つけると笑顔で急いで靴を脱いでいる様子があり、療育見学した時も先生に抱っこしてもらった場面を見て安心している場所であると感じた。 ・先生やお友だちと関わる際にリラックスした表情で過ごして安心してきている。	・子ども達がみらいに楽しく通えているというご意見を多くいただいております。保護者の皆様にも日頃からみらいの運営についてご協力をいただき大変感謝しております。どの子ども達、保護者の皆様にも安心して通える施設になれるよう今後も努力を続けて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1				・言葉は話せないが、朝の登園時にみらいへ行くと分かると笑い声をあげている。 ・利用日の前日に「明日みらいだよ」と伝えると嬉しそうな表情をしている。 ・子どもはみらいが好き様子である。 ・まだ利用して回数が少ない為、もう少し時間が必要である。	・貴重なご意見ありがとうございます。今後も楽しく通えるよう活動の工夫や支援の充実を図ってきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15					・まだ通い始めたばかりだが、先生方が細やかに様子を教えてくれたり、迷っていることも相談に乗ってくれる。子どもも笑顔で通い少しずつ成長している。みらいに入所してよかったと思う。 ・毎日出来た事などを丁寧に教えていただきとても嬉しい。いつもありがとうございます。 ・本当にいつもありがとうございます。	・貴重なご意見ありがとうございます。「みらいに行ってきた」と思ってもらえるよう、活動の工夫や充実を図り、様々な経験ができるような取り組みも積極的に行っていきます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人陸月会 児童発達支援事業みらい		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 18日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動やイベントを通じて、子ども達が楽しく通える環境を作っている。	・年に3回の保護者参加のイベントを実施している事や、季節のイベント、調理、外出の活動を行い、子ども達に様々な経験ができる機会を提供している。	・イベントだけでなく、保護者が交流できる場や支援員と保護者が話せる場を作ることで、保護者のニーズを聞き取り活動やイベントに活かせるような取り組みができるとよい。
2	・保護者との話す機会、相談する機会を設け、丁寧な情報の共有が取れている。	・6ヶ月に1度のモニタリング面談に加えて、日々の引継ぎの際に口頭で子どもの様子を伝えているのと同時に、ご家族が持つ悩みや困り感というものを聞き取りながら、必要に応じて面談や話す場を設けている。	・話しを聞いたうえで、支援のアドバイスや情報の提供などみらいでの情報の収集をし、いつでも相談できるという環境作りが必要である。
3	・他機関を利用する際に、園への見学や資料作成を通して情報の共有や支援内容の統一を図っている。	・近年は、保育園や幼稚園を併用しながら療育を受けのご家庭が増えている為、みらいでの取り組みだけでなく、他での活動の様子や環境を把握し、支援対応の統一の為クラスの先生との情報を共有している。また、支援における方法の提案も行っている。	・園への訪問は定期的に行えていない為、現状の把握が難しい。こちらの支援体制もあるが、半年に1回のペースで利用児の様子を把握できる取り組みが必要である。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・広報活動ができておらず、利用児の数が増えていかない。	・外部への広報活動をあまり行っていない。 ・パンフレットを作成しているが、量が多いため気軽に手に取って見てもらいづらい。	・HPだけでなく、SNSの活動も検討していく。 ・パンフレットだけでなく、リーフレットを作成し気軽に手に取れるようなものを作る。
2	・保護者同士の交流の場が少ない。	・イベントを年に3回程行っているが、イベント中は保護者も子どもを見なければならず、ゆっくりと会話をする時間がない。 ・保護者会やペアレントトレーニング等の実施していない。	・イベントも工夫し、保護者が交流できるような内容にしてみる。 ・必要に応じて、保護者が集まる回を開きつながらきっかけとなる働きをしていく。
3	・施設的环境が整っていない。	・建物が古く、トイレや活動室の設備が整っていない。不備のある箇所も多いが、すぐに修理ができていない。	・建物全体の問題もある為、施設とも話しながら優先して修繕できる所を検討していく。また、新しいものを購入し代替えとなる対応ができればそちらも検討しながら子ども達が過ごしやすい環境を整えていく。